

平成17年 新年市長挨拶

<平成17年の抱負>

新年あけましておめでとうございます。

新春を皆様おそろいでお健やかに迎えのことに、心からお喜び申し上げます。

旧年中は、市政の各般にわたりご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、本年は合併後満4年が過ぎ、私に取りましても節目の年であります。

私は、平成13年5月の新市誕生以来、これまで理想都市の実現を目指して、様々な施策に取り組んでまいりました。また、政令指定都市への移行により、権限や財源の移譲を受け、市民生活の利便性の向上の為に、生活基盤の整備をして参りました。しかし、まだ道なかばであると考えております。

今日、行政各般に渡り、行政への市民参画が行われておりますが、必ずしも市民の満足のいく、行政の透明性が確保されたとは言えません。また事務事業評価による、事業のスクラップ・アンド・ビルドが機能しておりますが、まだ緒についたばかりであり、後戻りさせる訳にはいきません。

そしてまた、国の三位一体の改革の過程で、補助金や地方交付税の削減等が、今後も考えられますが、現在行われております行政手法を、更により市民ニーズに即したものと変革が必要であると考えます。

これからも市民の視点に立った行政運営の施策を定着させるには、まだ多少の年月が必要であると考えますし、新市の基礎づくりが、合併・政令指定都市移行に関わった私の責務であると考えております。

また、私の著書「新しい夢を描こう」の中で記載をしましたが、62項目の事業を提案すると共に、将来のさいたま市のあるべき姿として、国際都市を目指していきたいと考えております。夢を追い求めて、市民と一体になり努力をし続ければ、必ずや国をも動かせると考えております。

以上、平成17年の年頭に当たり、抱負の一端を述べさせていただきました。

皆様には、さいたま市の更なる発展の為に、なお一層のお力添えを賜りますようお願いし、新しい年が皆様にとりましてすばらしい一年となりますよう、心から祈念申し上げます、私の挨拶といたします。

さいたま市長 相川 宗一